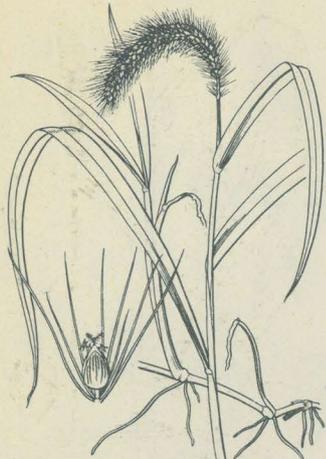


第 2512 圖

ほもの科



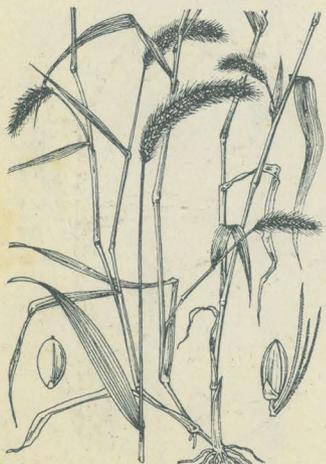
第 2513 圖

ほもの科



第 2514 圖

ほもの科



ゑのころぐさ (狗尾草)

一名 ねこじゃらし・ゑのころぐさ(古歌)
古名 ゑぬのころぐさ

Setaria viridis Beauv.

(=*Panicum viride L.*)

邦内隨處殊ニ平野ニ普通ナル一年生草本ニシテ高サ40-70cm許、全體綠色ヲ呈セリ。稈ハ直立シ、基部ニ於テ分枝シ往々膝曲シテ上向シ、下部上部亦分枝シ、瘦長ニシテ平滑、節ハ稍高シ。葉ハ線形或ハ線狀披針形ヲ呈シ漸尖頭ヲ有シ、下部ニ長葉鞘ヲ具フ。夏日、稈頂ニ綠色ノ圓柱狀圓錐花穂ヲ着ケテ一方ニ傾キ長サ4-10cm許アリテ多數ノ花ヲ集着ス。一小穂ニ兩全花ト不稔花類トヲ有ス。小穂ハ一花ヨリ成リ、小穂ノ基部ニ數條ノ長鬚毛アリ。外穎ハ小形、内穎及ビ外稃ハ略ボ同形、穎及ビ稃ニ芒ヲ有セズ。内穎外稃ハ角質ナリ。三雄蕊、二柱頭アル一子房アリ。穎果ハ橢圓形。和名ゑのころぐさハ狗の子草ノ意、狗ノ子ハ子犬ヲ云フ即チ其穂ヲ子犬ノ尾ニ擬セシナリ、ゑのころぐさハ狗の子草ナリ、ゑぬのころぐさモ亦狗の子草ナリ、ゑぬハ狗ヲ云フ、猫戯らしハ其穂ヲ以テ子猫ヲ戲レサスヨリ云フ、即チ東京ノ方言ナリ。

はまゑのころ

Setaria viridis Beauv.

forma *pachystachys Makino.*

(=*Panicum pachystachys Fr. et Sav.*)

ゑのころぐさノ一品ニシテ海岸又ハ近海丘阜ノ向陽地ニ生ズ。概形ゑのころぐさニ比シテ小ク、高サ10-20cmヲ普通トシ、或ハ直立シ或ハ圓座様ヲ成シテ横斜ス。穂ハ短縮シテ橢圓形又ハ長橢圓形ヲ成シ、2-4cm許アリテ直立シ下垂スルコト無シ。ゑのころぐさと同ジク夏日出穂シ、秋ニ及ンデ殘存ス。小穂ノ狀亦ゑのころぐさニ同ジ。穂ハ通常綠色ナレドモ、又時ニ赤紫色ヲ呈スルコトアリ。此品ハ元來ゑのころぐさノ海邊ニ生ジ其環境ノ影響ヲ受ケテ其草態短縮シ乃チ現形ヲ呈セシ者タルニ過ギズ、故ニ漸ク海ヲ離ルルニ及ババ其形態漸次ニ普通ノゑのころぐさと連絡スルニ至ル。和名濱ゑのころぐさハ濱邊ニ生ズルヨリ云フ。

むらさきゑのころ

Setaria viridis Beauv.

var. *purpurascens Maxim.*

(=*S. purpurascens Humbol., Bonpl. et Kunth; Panicum purpurascens Opitz.*)

川岸・原頭或ハ川原砂地等ニ生ズル一年生草本ニシテ稈・葉・花・實ノ狀總テゑのころぐさに酷似ス、然レドモ草狀稍瘦形ノ者多ク、且花穂ノ鬚毛褐紫色ナルヲ以テ認識シ得ベク、中ニハ多少帶紫色ノ者モアリテ普通ノゑのころぐさに接近スルコトアリ。稈ハ細長ニシテ直立シ高サ40-80cm許アリ。葉ハ線形或ハ線狀長橢圓形ニシテ漸尖シ稍硬質ニシテ往々紫色ヲ帶ビ細縁齒ヲ有ス。秋月稈頂ニ長サ4-8cm許ノ圓柱狀花穂ヲ抽キ密ニ小穂ヲ着ク。枝梗ニハ二小穂ヲ有シ、一ハ兩全花一ハ不稔花類ナリ。小穂ハ一花ヨリ成リ、其基部ニハ長鬚毛ヲ具フ。外穎ハ小形、穎及ビ稃ニ芒無シ、内穎竝ニ外稃ハ軟骨質ヲ呈シ光澤アリ。穎果ハ小ニシテ橢圓形ヲ成ス。和名紫ゑのころハ其穂色ノ紫ナルニ基キテ云フ。

きんゑのころ

Setaria lutescens Hubbard.

(=*Panicum lutescens Weigel.*)

野外ノ廢地・路傍或ハ圃地等ニ普通ニ生ズル一年生草本。稈ハ基部ニ於テ岐分シ、叢生ニテ直立シ或ハ往々斜上シ、長サ20-60cm許アリ、瘦長ニシテ平滑ナリ。葉ハ細長ニシテ線形ヲ呈シ漸尖頭ヲ有シ、質軟クシテ細縁齒ヲ有シ、葉鞘ハ其背脊稜ヲ呈ス。夏ニ至テ稈頂ニ圓柱形ノ花穂ヲ立テ長サ3-8cm許アリテ多數ノ花ヲ集着ス。枝梗ハ二小穂ヨリ成リ其ハ兩全花、其ハ不稔花類ナリ。小穂ハ一花ヨリ成リ其短梗基部ニ金黃色ノ鬚毛多數アリ。外穎ハ小形、穎及ビ稃ハ總テ芒ヲ有セズ。内穎竝ニ外稃ハ軟骨質ヲ呈シ、内部ノ小ナル穎果ヲ護シ、外稃ノ背面ニ横皺アリ。三雄蕊一雌蕊アリ。和名金ゑのころハ其花穂ノ黃色ナルニ由ル。

あは(梁)

一名 おほあは

Setaria italica Beauv.

(=*Panicum italicum L.*)

上古我邦ニ渡來シ今ハ普ク諸州ノ圃地ニ栽培セララルル強壯ナル一年生草本ニシテ高サ1-1.5m許アリ。稈ハ單一ニシテ直立シ、粗大ニシテ圓柱形ヲ成シ平滑ナリ。葉ハ披針形ニシテ先端漸尖シ質稍厚クシテ細縁齒ヲ有シ、下ニ葉鞘ヲ具フ。秋季稈頂ニ單獨ナル花穂ヲ抽テ一方ニ傾垂シ、基大形ニシテ長サ凡15-20cm、圓柱狀ヲ成シ多數ノ小枝ヲ分テ無數ノ小粒形小花ヲ密集ス。最末枝梗ハ一花ト不稔花類トヲ有シテ長鬚毛或ハ短鬚毛ヲ具ヘ、小穂ハ一花ヨリ成ル。外穎ハ小形、内穎及ビ外稃ハ凡同形同大、内穎外稃ニハ光澤アリテ芒ナシ。三雄蕊一雌蕊アリ。穎果ハ小球狀ニシテ帶黃色。種中もちあは(稊)ハ穀ニ粘氣アルノ品ナリ、又ねこまた一名ねこて又ねこのあし (var. *ramifera Makino*)ト呼ブ者アリ、穗末岐レテ數枝ヲ成ス。和名あはハ五穀中味淡ケレバ名クト謂フ、眞乎否乎、又蓋シ采ノ朝鮮音ハアト同源ナラントモ謂ヘリ、大あはハ全草大形ナルヨリ云ヘリ。

こあは(粟)

一名 ゑのこあは

Setaria italica Beauv.

var. *germanica Schrad.*

(=*Panicum germanicum Mill.; P. italicum L. var. germanicum Koel.; S. germanica Beauv.*)

あはト同様舊クヨリ圃地ニ培養セララルル一年生草本ニシテ高サ90-110cm許アリ。稈ハ單一ニシテ直立シ狭長ナル圓柱形ヲ呈シ平滑ナリ。葉ハ狭長ナル披針形ニシテ漸尖シ質稍硬シ。夏秋ノ候、稈頂ニ瘦狭ナル圓柱狀ノ花穂ヲ着ケテ一方ニ傾垂シ、長サ凡ソ10-15cm許アリテ多數ノ小穂ヲ密ニ着ケ初メ綠色、熟スレバ黃色或ハ赤黃色ト成リ毛ハ短キヲ常トス。分枝ニ在テ短キ小穂ノ基部ニハ鬚毛アリ。小分枝ニハ一花ト不稔花類トアリ。小穂ハ一花ヨリ成ル。外穎ハ小形ニシテ内穎及ビ外稃ハ略ボ同形同大ニシテ芒ナシ。穎果ハ平滑ナル小球形ニシテ黃色ナリ。和名ハ小あはノ意ニシテ其果穂普通ノあはニ比スレバ小形ナルヨリ斯ク云フ、粟ノ字ハ通常あはニ使用スレドモ嚴格ニ言ヘバこあはナリ。ゑのこあはハ狗の兒粟ノ意ナリ。

第 2515 圖

ほもの科



第 2516 圖

ほもの科



第 2517 圖

ほもの科

